

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：建築&芸術学部 名前：佐藤 晴美 作成日：2024年1月26日

1. 教育の責任

「学修活動を通じて創造的な構想力と表現力を習得し文化的に人間生活を考える素養を備えた感性豊かな人材を養成する」とした建築&芸術学部の教育目標を踏まえて自分らしい表現は何かを考え技術を学び作品制作を通じて課題解決能力の向上に努める

「マンガ技法Ⅰ」（実技・マンガ制作メジャー必修科目 春学期 2単位 23名）

「マンガ技法Ⅱ」（実技・マンガ制作メジャー必修科目 秋学期 2単位 22名）

「卒業制作」（演習 マンガ制作メジャー必修科目 通年 4単位 10名）

2. 教育の理念

「豊かな教養と専門的学術 旺盛な自己開発精神 優れた国際感覚及び問題解決能力を備えた人材を育成する」という本学の教育目的を踏まえ 今や国際的に通用する「マンガ」という分野の独自の多彩な表現力を学ぶことにより自身の世界観を広げ 社会における多様な可能性を見出すことのできる視野の広い考えを持てるよう指導していきたい

3. 教育の方法

知識や技術の伝達方法「マンガ技法Ⅰ・Ⅱ」は 200 番科目であり履修学生には技術力に大きな差があり 個々に学ぶべきところに違いがあるため全体指導の上 必要とする指導を個別に行う

作品は他者に伝える手段である「伝える」作品制作を必然とする表現を理解するように指導を行うが

作品は「自己の表現」である 自己の作品を貫く姿勢 作品を作成する目的意識を常に持てるよう自身で答えを出すように心がける

完成作品を秋学期には冊子として印刷し完成された印刷物として自己の作品 他者の作品を見ることで改めて次回作品制作に反映させることとする

マンガ編集者に来ていただき編集者目線での仕事としての作品指導をする機会を与える

卒業制作では卒業制作展を目標に 3 年間学んできた技術 発想で「個性」を重視し展示を目標とした制作を行う

手法や方法は企画した内容を個別に相談を受けできるだけ自由発想で通年を通して制作する

計画に沿って自己管理をし作り上げる困難を知ること

選抜となるが東京での展示も行う

4. 教育の成果

在学中にマンガ編集者が担当となり指導を受ける学生や投稿により漫画賞を受賞 仕事としての道を進む学生を多数輩出

また一般企業においても大学でマンガを学んでいることを伝えると社内での DN へのイラスト作業などを行えるようになる

西宮市宮水ジュニアで「子供マンガ教室」にて学生が講師として指導に当たる（毎年行い 10 年を超える）

ゼミナールではマンガの多様な仕様として「尼崎消防団」「西宮市環境局」「西宮市保健所」「西宮市消防局」「西宮市警察署」「有限会社六甲味噌」などパンフレットやグッズの制作することができた

5. 改善への努力と今後の目標

作品制作において情報が多く簡単に調べることができ基礎からの積み上げがおろそかとなりがち傾向がある

また自己管理が難しく先読みせずにいる傾向が強い そのあたりの指導が重要であり難しい

【添付資料】